

令和6年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年分について、輸出額は「石油製品」、「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」、「映像機器」などが増加したことから対前年比4.3%の増加となった。また、輸入額は「石炭」などが減少したものの、「石油製品」、「原油及び粗油」などが増加したことから、同4.1%の増加となった。

その結果、差引額は1兆2,774億円（同4.0%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1兆1,217億円	+4.3%	2兆3,991億円	+4.1%	▲1兆2,774億円	+4.0%
4年連続の増加			2年ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車	1,594億円	+31.8%	輸入	増加品目	(1)石油製品	1,195億円	+32.1%
		(2)映像機器	233億円	+113.9%			(2)原油及び粗油	1兆3,289億円	+2.2%
		(3)写真用・映画用材料	270億円	+57.6%			(3)液化石油ガス	880億円	+15.5%
	減少品目	(1)石油製品	848億円	▲34.4%		減少品目	(1)石炭	522億円	▲50.0%
		(2)自動車の部分品	926億円	▲7.8%			(2)液化天然ガス	3,471億円	▲7.3%
		(3)電気回路等の機器	917億円	▲4.6%			(3)原動機	70億円	▲19.9%
地域別動向					地域別動向		アジア、中東が増加、大洋州は減少		

（参考）ドルレートは、150.97円（前年比7.7%、10.80円の円安）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。